

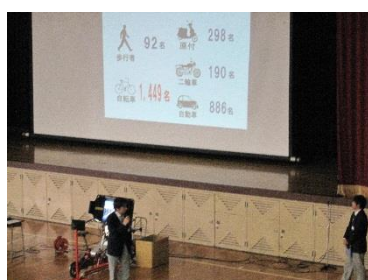
5月11日(木)に名鉄自動車専門学校より、3名の講師をお招きし、体育館にて交通安全講話が実施されました。

一般道路で発生しうる事故の自転車シミュレータでの体験や、幅員の狭い通路の自転車通行を体験することにより交通安全に対する意識の向上を図りました。

この講話で行われました様子をご紹介します。



最初に名鉄自動車専門学校よりお招きした、3名の講師の方々を紹介いたしました。



講話の始まりです。

まず、愛知県内で昨年が発生した交通事故の発生件数が紹介され、あまりの多さに生徒も驚いていました。



続いて、代表生徒2名が自転車シミュレータで、登校時や夜間での自転車運転で起こりうる事故を体験しました。

一旦停止箇所を飛び出すことの危険性や、思いもかけず発生する事故に、大きな反響が全校生徒よりありました。



さらに代表生徒4名が、幅の狭い通路を自転車で通行する体験をしました。

4名とも、普段通りの運転では難なく渡りきれたものの、スピードを落とすなどの条件が加わるとその困難さが増しました。

特に片手でスマートフォン扱いながらの運転では、全員がすぐに失敗してしまい、その危険性を全校生徒が認識することができました。